

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 150-0013
 住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
 氏 名 株式会社 アトレ
 代表取締役社長 一ノ瀬 俊郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 アトレ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区駅前本町26番地1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業、物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産賃貸業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,995	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	<p>弊社の環境経営の取り組みについてはホームページに公表しています。 http://www.atre.co.jp/company/activity/environment.html</p>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

事業活動を通じて、環境問題への意識を高め、環境負荷を最小限に抑え、環境効率を向上させます。

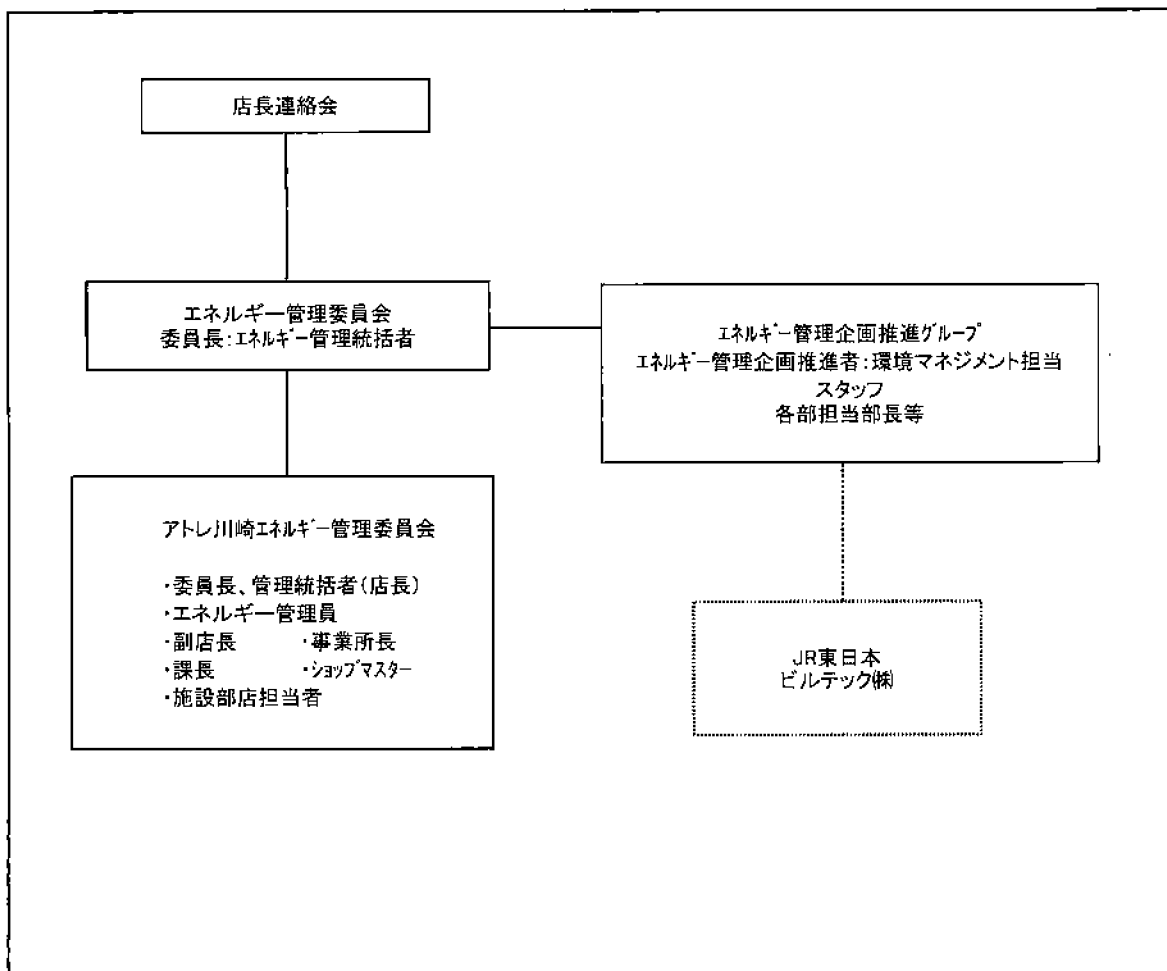
- 1) 省エネ・省資源の追求
- 2) 二酸化炭素排出の削減と省エネ設備の導入
- 3) 廃棄物の削減とリサイクル率の向上
- 4) グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入）の推進
- 5) お客様と地域に貢献する環境施策の推進
- 6) 環境マネジメントシステム（EMS）の維持・発展

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

エネルギー管理委員会を設置し、次に掲げる事項について検討・審議を行う。

- (1) エネルギー管理方針、目標及び計画の策定
- (2) 省エネ法及び関係法令の定めによる中長期的計画の策定
- (3) エネルギー管理標準の制定及び改廃
- (4) エネルギーの使用状況の把握・監視及び使用方法の改善
- (5) エネルギーの使用の合理化に関する設備の維持及び新設、改造又は撤去
- (6) エネルギー管理に携わる社員等に対する啓発、指導等
- (7) 温室効果ガスの排出の抑制等に係る目標及び計画の策定
- (8) 温室効果ガスの排出の抑制等に関連する法令の定めによる中長期的計画の策定
- (9) 温室効果ガスの排出の抑制施策の実施
- (10) 法令の定めによる定期の報告

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実)	5,307	(実)		
		(調)	5,506 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実)	5,254	(実)		
		(調)	5,505 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削減量		(実)	53 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実)	53 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実)	1.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		延床面積×年間営業時間			
原単位の単位		t-CO ₂ /(千m ² ・千h)			
基準年度の値		21.71			
目標年度の値		21.49			
削減率		1.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

商業施設という事業所の特性上、削減する事は困難が予想されるが、基準年度排出量原単位の値を1%以上削減することを目標にした。

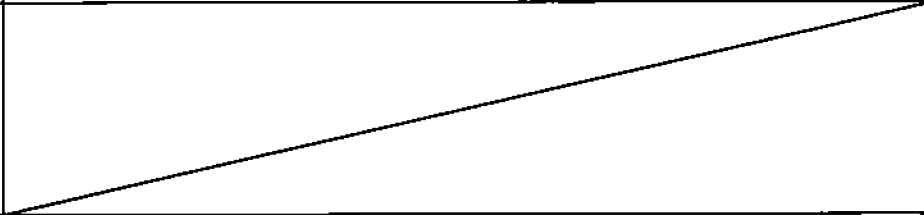
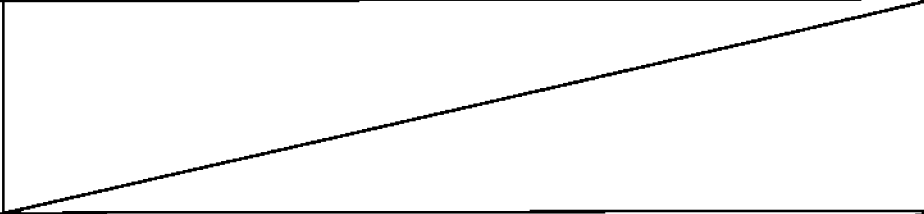
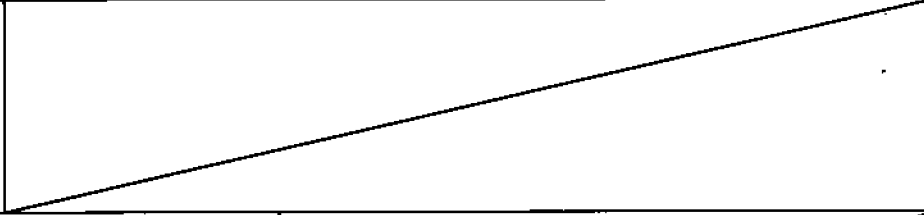
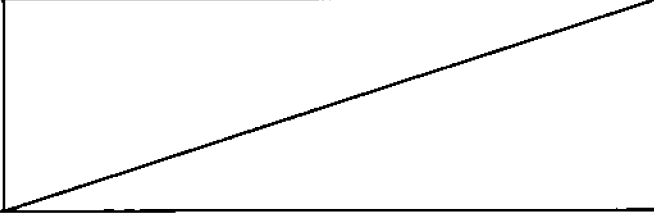
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>2018年度に熱源設備、熱搬送設備、空気調和設備、換気設備の更新を実施。照明設備も2018年度まで概ねLED化を実現している。 省エネルギーに関わる設備投資は現段階では未定であるため、計画期間内においては、運用改善を主とした空調設備の効率的な運転管理を行いエネルギー使用量を削減していく。 1. 熱源設備の運用管理 1) 外気条件や負荷変動等に応じた運転台数の調整、及び稼働機器の選択。 2) 外気温に合せた発停運転。 3) 冷温水ポンプ流量インバータ制御実施。 2. 外調機のCO2濃度インバータ制御実施。 3. 温調区画、室内設定温度、空調設備運転時間の随時見直し</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 後方通路、後方施設等の照明のLED化を実施した。 ・ 熱源設備、熱搬送設備、空気調和設備、換気設備を、エネルギー効率の高い機器に更新した。
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	検討はしたが、立地条件によりできなかった。
風力	○	検討はしたが、立地条件によりできなかった。
バイオマス	○	検討はしたが、立地条件によりできなかった。
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
	なし	

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	・なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化 5階屋上を一部緑化した。(平成22年5月21日オープン) なお当事業は、川崎市屋上緑化等助成事業により補助金の交付を受けた。 ・廃棄物リサイクル率の向上 廃棄物リサイクル率の向上により、処分時の温室効果ガスの排出を抑制する。 ・グリーン購入の推進 文具・事務用品の、グリーン購入率100%を目標とする。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	5,307	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,995	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
アトレ川崎	川崎区駅前本町26番地 1	5,307 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂